

社会福祉法人やまだい福祉会

～認定こども園やまだい保育園をご利用希望の方へ～

乳児室の利用を検討している方も3歳児からは本部園に進級になりますので、ご覧ください

認定こども園ってなに？

平成27年4月から、全国で一斉にスタートした、**幼児期の学校教育と保育を一体的に行う施設**です。
保護者が働いているかどうかに関係なく利用でき、保護者の就労状況が変わっても通いなれた園を継続して利用できることが特徴です。

但し、当園の場合は元々保育所であった兼ね合いがあり、保護者が就労などにより保育に欠ける子どもの利用を最優先にしています。そのため、保育に欠けない子どもについては、あまり枠がありません。

おおまかなポイント

①保育に欠ける条件のある2・3号認定枠と、条件のない1号認定枠の子どもが混在しています。

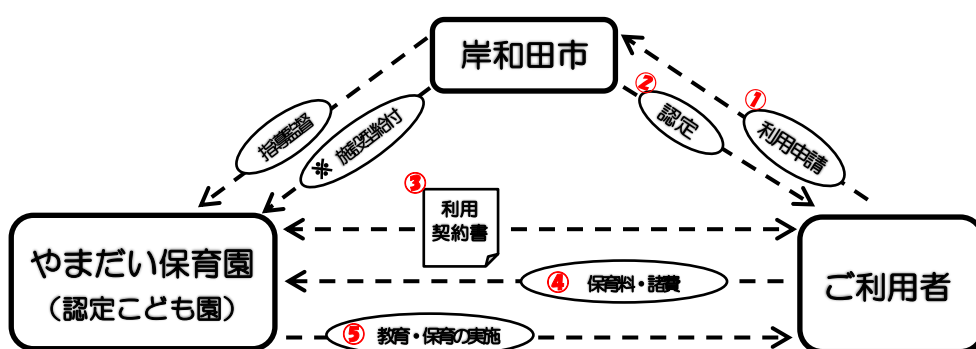
2・3号認定枠(0歳～就学前まで)は就労などによる保育に欠ける条件が必要で市による入所選考となり、1号認定枠(満3歳～就学前まで)は条件は特になく当園による入所選考となります。

1号認定枠は定員が少なく3～5歳児クラスに数名ずつとなり、2・3号認定枠と比べて基本保育時間が9～14時までと短く、長期休業日(春・夏・冬休み)もあります。(14時以降の利用や、長期休業日の利用も可能です。但し別途料金が必要です。)

2・3号認定枠・1号認定枠共に教育保育内容(指導方法・行事等)については同じです。

②園と利用契約を結び、保育料は岸和田市ではなく園へ支払います。

下図を参照ください。(2・3号認定枠の場合です。1号認定枠は若干手続きが異なります。)



※保育料は、岸和田市が各家庭の所得に基づいて決定します。(市のHPに掲載)

※保育料については、原則自動引落(口座振替)でお願いいたします。

※市から園に施設型給付という費用が給付されます。この費用は、本来利用者の方に一旦給付され、その全額を園に支払って頂くものになりますが、流れが複雑になることから、法律にもとづき、利用者の方を介することを省略して、市から園に直接支払われるものです(法定代理受領といえます)。つまり、お支払頂く保育料は病院の窓口負担のように、保育に必要な経費の一部負担金ということになります。

③小学校入学に向けての十分な体力と知識をつけ、情緒の安定を図ります。

認定こども園では「学校教育と保育を一体的に行う」とされており、一年を通して様々な行事や、3歳以上児には音楽指導・体育指導・ECCジュニア・スイミング教室・わくわく教室・科学遊び・和太鼓教室といった特別保育指導があります。(詳しくは、当園HPでご確認ください。 <https://www.yamadai.ed.jp/frame-tokubetu.html>)

保育認定と当園事業との関係表

各保育認定と、当園事業との兼ね合いについては、下記の通りです。

	保育が必要でない	保育が必要	
3 ~ 5 歳	1号認定 (幼稚園枠：定員15名) 利用条件：なし 基本時間：9:00~14:00 長期休業日あり (別料金で7:00~19:00および長期休業日利用可)	2号認定(保育所枠：定員54名)	
		保育標準時間認定 利用条件：フルタイム就労など 利用可能時間：7:00~18:00の最大11時間 (18:00~19:00は延長保育)	保育短時間認定 利用条件：月64時間以上の就労など 利用可能時間：8:30~16:30の最大8時間 (7:00~8:30、16:30~19:00は延長保育)
0 ~ 2 歳	認定無し ※やまだい保育園一時保育室は利用できます。	3号認定(保育所枠：定員46名) ※別途、やまだい保育園乳児室に定員11名あり	
		保育標準時間認定 利用条件：フルタイム就労など 利用可能時間：7:00~18:00の最大11時間 (18:00~19:00は延長保育)	保育短時間認定 利用条件：月64時間以上の就労など 利用可能時間：8:30~16:30の最大8時間 (7:00~8:30、16:30~19:00は延長保育)

※実際の利用時間は園に提出する「保育時間申請書」に基づきます。また、特に土曜日については、お仕事が休みなど「保育に欠けない」日につきましては、できる限りご家庭での保育をお願いいたします。

当園は、夏季・十月祭礼・年度末休業日、お迎え時間が早い日があります。

当園ホームページの年間予定表ページ(<https://www.yamadai.ed.jp/frame-yotei.html>)にて、年間予定がダウンロードできるようになっています。新年度の予定表掲載は毎年3月末ごろになりますが、一年の流れや行事について、分かりやすいかと思しますので、一度ご覧ください。

夏季、岸和田十月祭礼開催日、年度末に1~2日程度の休園日があります。お迎えが早い日、行事後の保育が無い日などもあります。

当園は“ならし保育”があります。

当園は、入園してから一週間の“ならし保育”があります。これは文字通りお子様の精神的な負担を鑑み、保育施設に慣れていただくために設定するもので、その期間中は午前保育となり、お昼にお迎えをお願いするものです。一週間の設定が難しいご家庭の場合は、日程の短縮も可能ですので、ご相談ください。

育児休業を取得されている方については、“ならし保育”実施施設における職場復帰時期については特例がありますので、市子育て施設課にご相談ください。

当園は“門限”があります。

当園は、その日の出欠状況を最終確定する区切りを設けるため門限を11時に設定しており、それ以降の登園は理由の如何を問わずできないことにしております。どうかご理解ください。

オムツとトイレトレーニングについて。

0歳児のオムツについては、布、紙どちらでも構いません。使用済みの紙オムツは園で処分させていただきます。

お子さまが歩き出すようになると、傾合いを見てトイレトレーニングを開始しますので布おむつ（トレーニングパンツでも代替可能）をご準備頂きます。

トイレトレーニングはカリキュラムの間などに一斉にトイレに行くことを基本にしています。排泄を促す時間を毎日同じ時間くらいに設定し、規則正しくすることで、習慣づき排泄の自立が早くなることと、それによりお家でのご家族の負担も早く軽減されることにつながると考えています。

幼児組はお稽古事や行事の練習で何かと忙しくしています。

3歳児クラス（幼稚園でいう年少）以降の幼児組では、音楽指導・体育指導・ECCジュニア・スイミング教室・わくわく教室（4～5歳）・科学遊び（5歳）・和太鼓教室（5歳）といった特別保育指導に加え、運動会や生活発表会など大きな行事の出し物の練習、様々な行事などもあり、何かと忙しくしています。

これは、様々な経験をしてもらうことで、子ども達の秘めたる可能性を少しでも伸ばすことができればという考え・目的で行っているものです。（もちろん、できる限り自由あそびの時間も設定するように心がけています。）

お昼寝は4・5歳児組（年中・年長組）はありません。

幼稚園では、一般的に預かり保育においてもお昼寝がないところもあります。

睡眠研究者による研究の一つによると、保育園児の方が幼稚園児より就床時間が30分以上遅いことが分かっているようです。その原因は、昼寝により寝つきが悪くなるためだと考えられるとのこと。

さらに、翌朝の起きる時間は保育園児も幼稚園児もほとんど変わらないため、保育園児は夜間の睡眠時間が少なく、起床した時の幼稚園児と比べると、「ぐずり」などもより多く生じることが分かっているようです。また、一部の睡眠研究者の間では、睡眠時間は1日のトータルではなく、夜いかに適切な睡眠時間をとるかが大切だといわれているようです。

以上のような研究を参考に、当園では4・5歳児組については、ご自宅での夜の睡眠について適切な時間とってもらえることを目的に、お昼寝はせず、設定保育等を行うことを基本にしています。

（3歳児組の年度末から慣れてもらうことを目的にお昼寝がなくなります。また、土曜日については、一週間の疲れもあることから、一応全年齢お昼寝の時間を設定し、眠れないまでも横になってもらうようにしています。）

※本件については、園として、自宅あるいは他施設さんにおける4・5歳児のお昼寝を否定するものではありません。

10～11月上旬には行事やお弁当日が多く、地域の行事も重なり、ご負担をおかけします。

秋は十月祭礼をはじめ、小学校の運動会もある中、保護者原則参加行事として運動会（土曜開催・延期

なら翌月曜開催・弁当不要)があります。

さらに、子ども達だけの行事ですが、お弁当を作っていただく行事として3～5歳児のミカン狩り&いも掘りと遠足、0～2歳児の園外保育、そして民間保育協会ののしみ会(5歳児のみ)があります。

ご家族の皆様にはご負担をおかけいたしますが、年度初めに一年間の行事予定をお渡しさせていただきますので、ご予定をいただきますようお願い申し上げます。

当園には保護者会があります。

本部園と乳児室の保護者会として、「母の会」があり、保護者の中から毎年度「役員」及び「クラス委員」が選出されます。「役員」は年間を通して様々な行事について、お手伝いをお願いすることになります。「クラス委員」は運動会やもちつき会といった行事にお手伝いをお願いすることになります。乳児室からは「クラス委員」が1名選出されることとなります。

「母の会」は、「家庭・保育園・社会を通じて、幼児生活の健康・安全・幸福のため、会員相互の親睦と向上に勤め、幼児保育の振興をはかること」を目的に設立され、家庭と園との関係を緊密にし、園と共に協力しあって園児の心身の健全な発達をはかっていくという組織です。

※少しずつ保護者会の負担軽減ができるよう図っております。

利用児は山直北小学校に進学される方が半数以上を占めます。

学年によって異なりますが、進学先小学校は、山直北(5～7割)、城東(1～3割)、八木(1～2割)、八木北(0～1割)、その他(わすか)というような感じです。

山直北小学校に進学予定の方へ。“やまだい保育園放課後保育”が利用できます！

この事業は、「利用形態に融通の利く学童保育をつくってほしい」という保護者の方からの要望を受け、地域貢献を目的に平成25年に立ち上げた当法人の自主事業です。保護者が就労、出産、介護、疾病、日々のリフレッシュに出かけるなどで、放課後あるいは学校休業日に保育が欠けてしまう場合に、1日単位や、数週間、数か月など保護者の方が希望される期間お預かりするものです。

市立チッコホームとは異なり、当園が地域貢献を目的に独自に行っているものです。

保育場所はやまだいふれあいの家(岸和田市田治米町425番地1)です。

放課後保育の市立チッコホームと異なる点としては、

- 保護者会が無い
- 学校休業日のお昼は給食(土曜日や春・夏・冬休みなど)
- 市の事業ではないので、所得や兄弟姉妹等の利用料の減免などが無い。
- 基本は日割料金で、利用した分だけ費用が掛かる(利用頻度が高い低学年では市立チッコホームよりも利用料が高額になる場合が多いです)

- 保育時間は最大7～19時
- 学校から施設への来所方法は、徒歩となり、保護者の責任において登園していただく。（施設の関与はありません）

というような感じです。

施設が小さく受け入れ人数に限りがあるため、原則“山直北小学校の児童で且つやまだい保育園の卒園児のみ”を対象にしています。利用希望者が多いときは、受入ができない場合もあります。

基本的に、他施設を卒園された方については、ご利用いただけませんので、山直北小学校に進学予定の方は、ご注意ください。